

# みやぎ復興プレス

「みやぎ復興プレス」では、東日本大震災により被災された方をはじめとした復興に関わる多くの方々に、宮城の復興状況やイベント、被災者支援など、復興に関する主な情報をお届けします。メールマガジンやWebサイトとも連動し、多くの皆さまのお手元に情報をお届けしますので、よろしくお願いいたします。

目次

- p1 トピックス：被災者の生活支援に向けたボランティア活動
- p2～p3 被災地からのレポート、復興イベント情報、復興の足跡、応援職員紹介、月間ココロプレス
- p4 被災者生活支援情報 ほか



メールマガジンによる配信も行っています！ 配信を希望される方は、1 お名前、2 お住まいの都道府県、3 ご所属（個人の方の場合は不要）をメール本文に記載して [fukusuim@pref.miyagi.jp](mailto:fukusuim@pref.miyagi.jp) まで送信願います！



## ボランティア活動の“今”

—引き続き温かいご支援をよろしくお願いいたします！—

東日本大震災から3年が過ぎ、約69万人のボランティアの方々に宮城県でご活動いただきました。ピーク時には12市13町36か所に設置されていた災害ボランティアセンターは、多くが復興支援（支え合い）センター等に名称を変えてボランティア活動への支援を継続しております。

ボランティアの内容も、震災直後のがれき撤去や側溝泥出しといった災害系のボランティアから、仮設住宅等での見守りやサロン活動、イベントの手伝いといった生活支援ボランティアが中心となりました。

生活支援のボランティアニーズが多様化する一方、平成23年に約49万人が活動したボランティアの人数は、平成24年には約12万人、平成25年には約6万人と減少傾向にあります。

被災地における地域コミュニティの形成や被災者の自立促進、社会的包摂の仕組み作りなど、被災者の生活支援を進めるためにはボランティア活動による継続的な支援が重要です。

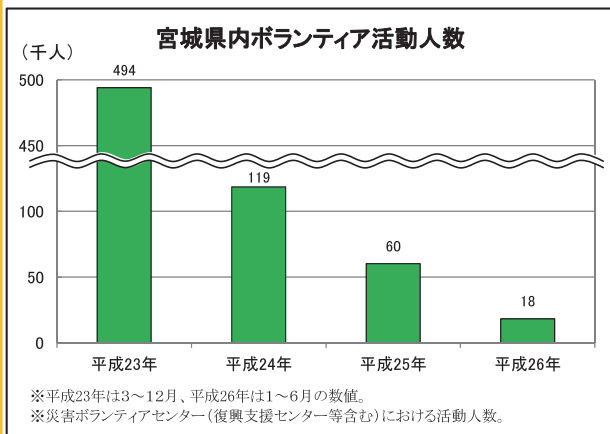
今後ともボランティア活動への皆様のご理解とご協力をお願いします。



南三陸町災害ボランティアセンターの朝のミーティングの様子



南三陸町災害ボランティアセンターの受付窓口



### 県・市町ボランティアセンター 問い合わせ先

名称	所在地	連絡先
気仙沼市社会福祉協議会ボランティアセンター	気仙沼市東新城2-1-2	0226-22-0722
南三陸町災害ボランティアセンター	南三陸町志津川字沼田56	0226-46-4088
石巻市社会福祉協議会 災害復興支援対策課	石巻市不動町2-16-10	0225-23-3911
女川町社会福祉協議会ボランティアセンター	女川町霊神浜字堀切山51-7	0225-53-4333
東松島市生活復興支援センター	東松島市矢本字大溜9-1	0225-83-5001
塩釜市復興支援センター	塩釜市北浜4-6-52	022-364-1213
多賀城市社協復興支えあいセンター	多賀城市城南1-18	022-352-7278
浜を元気に！七ヶ浜町復興支援ボランティアセンター	七ヶ浜町吉田浜字野山5-9	090-6853-4490
復興支援“EGAO(笑顔)せんだい”サポートステーション	仙台市青葉区五橋2-12-2	022-266-6805
なとり復興支援センターひより	名取市増田字柳田80	022-383-3185
岩沼市復興支援センタースマイル	岩沼市里の杜3-4-15	080-5949-7540
亘理ささえあいセンター「ほっと」	亘理町字旧館60-7	0223-36-7559
やまもと復興応援センター	山元町浅生原字作田山32	0223-35-6223
宮城県災害・被災地社協等復興支援ボランティアセンター	仙台市青葉区上杉1-2-3	022-266-3952

【お問い合わせ先】 県社会福祉課 電話 022-211-2519 URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syahu/>  
 県社会福祉協議会 電話 022-266-3952 URL <http://svc.miyagi.jp/>



「情報レンジャー@宮城」は、復興のための正しい情報やニーズを届ける「助けあいジャパン」の情報収集実行チームです。

レンジャーからのレポートやカメラがとらえた被災地の今をWebサイト上に公開していますので、どうぞご覧ください！

URL <http://inforanger.tasukeaijapan.jp/> 情報レンジャー@宮城

検索



## 復興イベント情報 海開き編

### 網地白浜海水浴場（石巻市）

開設期間 7月19日（土）～8月24日（日）

開設時間 9:00～15:30

お問い合わせ：石巻市牡鹿総合支所地域振興課

### 蒲戸桂島海水浴場（塩竈市）

開設期間 7月19日（土）～8月17日（日）

開設時間 9:00～16:00

お問い合わせ：塩竈市観光物産案内所

### 月浜海水浴場（東松島市）

一般開放 7月20日から8月24日までの毎週日曜日  
 8月14日（木）、15日（金）

お問い合わせ：月浜海水浴場実行委員会事務局

### マイビーチ亀ヶ浜（塩竈市）

開設期間 7月20日（日）～8月31日（日）

開設時間 10:00～16:00

お問い合わせ：海水浴場「マイビーチ亀ヶ浜」海開き実行委員会

### 小田の浜海水浴場（気仙沼市）

開設期間 7月26（土）～8月24日（日）

開設時間 9:00～16:00

お問い合わせ：気仙沼大島観光協会

## 復興の足音 ～被災地の現場情報～

### ★波板地域交流センターが完成しました★

阪神・淡路大震災を経験した兵庫県民の皆様からの寄付金を活用した、地域交流拠点施設「波板地域交流センター」が石巻市雄勝町波板地区に完成しました。

海や山など自然豊かな環境を活かした体験学習等に最適な施設として、大広間（26畳）や和室（7畳、6.5畳）、工房（16.5畳）、簡易宿泊設備（22.4畳）のほか浴室等も備えています。

準サポート会員になれば、どなたでも利用が可能です。



波板地区会長 鈴木紀雄さんの声

「ここに来てくれる皆さんと一緒にもう一度来たいという魅力をつくっていききたいと思います。」

年会費：個人 1,000円、団体 15,000円

時間利用料金（1団体1時間につき）／

大広間 1,000円、その他和室等各室 500円

宿泊料金／個人 3,000円、団体 2,500円（学生 2,000円）

お問い合わせ：波板地域交流センター 0225-98-5145

## 全国の皆さま 応援ありがとうございます！

応援職員紹介コーナー Vol. 22



### 活力ある農業・農村の振興を！



福島県 稲田 雄紀 さん

配属先：仙台地方振興事務所  
 農業農村整備部

農業・農村復興計画も4年目に突入し、復旧から復興へと向かっている中、私の担当現場である亘理町では、農地を大区画化し、面的な集約を図るためのほ場整備が行われています。早期営農再開を図るためにも、地元と協議・調整を密にして、積極的に業務に取り組んでいきたいです。

福井同様、宮城のお米もおいしく、ご飯がとても進みます。3ヶ月が経過しましたが、体重も増加しています(笑)。そのおいしいご飯を活力に、今後も復興に邁進してまいります。

### 水産業の発展のために！



長崎県 貞松 大樹 さん

配属先：東部地方振興事務所  
 水産漁港部

宮城県に来たのは高校時代以来の2度目になります。前回は、ボート競技で宮城国体に出場するために訪れました。

長崎では、魚礁設置や藻場造成等の漁場整備を担当していました。こちらでは、漁業許可に関わる業務を担当しています。

石巻市と女川町では様々な魚や貝類、藻類が獲れるため、漁業の種類も多岐に渡ります。それら漁業の許可手続きを通して、少しでも水産業の復興の役に立てるよう頑張りたいと思います。

「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

投稿数が1,000件を超えました。

宮城の復興情報を募集中です!

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。  
fuku-suip@pref.miyagi.jp

必要事項: 1取材対象 / 2取材希望日 / 3取材場所 / 4御担当者氏名 / 5電話番号  
※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



ココロプレス 検索

2014年6月23日 月曜日掲載

3年間、待っていました!  
「金華ほや・帆立 復興感謝祭」(石巻市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/06/3.html

「水揚げまでの3年間、たくさんのご支援のおかげで、ついにホヤ養殖が復活しました」と寄磯ほや養殖部会長の遠藤正さん。3年ぶりの「宮城のホヤ」は、海の滋味をそのままいただいたような味わいで、ほのかな甘さもありました。



2014年7月6日 日曜日掲載

我歴stock in 女川～冒険編～  
子どもたちが主役のファッションショー (女川町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/07/stock-in\_6.html

6月1日に開催された第4回我歴stock in 女川。今年のテーマは「子どもたちが主役」。中でも子どもたちが輝いたのは、2012 Miss Universe Japanの原綾子さんがプロデュースしてくれた「AH'S プレゼン チャリティーファッションショー」でした。



2014年7月10日 木曜日掲載

塩竈6,000年の歴史を聞く。「第一回塩竈市東日本大震災記録誌ワークショップ」(塩竈市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/07/6000.html

震災から3年。被災した市民の視点を織り込みながら、後世に残してゆくべき教訓を行政とともに考え作り上げてゆく「塩竈市東日本大震災記録誌」の編纂が進められています。そのためのワークショップが開催されました。



2014年7月16日 水曜日掲載

復興と海の未来を志す。  
若き漁師シリーズ"Part3 (南三陸町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/07/part3.html

震災を機に仙台での会社員生活を辞めて志津川に戻り、養殖漁業に取り組む小野具大さん。「ホヤとホタテ、また漁協の部会でカキ、ワカメなども手掛けています。でも、これまでやったことのない新しい養殖も試してみたいですね」と夢は広がります。



2014年7月17日 木曜日掲載

新しいコミュニティに向けて、  
「座談会」が始まる (仙台市、亶理町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/07/blog-post\_17.html

新しく生まれるまちに、新しく生まれるコミュニティ。それをいかに作りあげていくのか。被災地全体が抱える課題です。宮城県社会福祉協議会では、亶理町と気仙沼市をモデル地域に、新しいコミュニティづくりの支援を始めています。



2014年7月23日 水曜日掲載

困っている人がいれば  
行動するのが当たり前 (気仙沼市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/07/blog-post\_23.html

配食サービスの「気仙沼給食センター」を運営する生駒和彦さん。津波火災で自宅を失いましたが、難を逃れた工場に残った食材と燃料をすべてつぎ込んで、震災が発生したその夜から避難所におむすびなどを届け続けました。



## 安倍総理大臣が被災地を視察

平成26年7月16日

安倍総理大臣が七ヶ浜町水産振興センター、東松島市の有限会社アグリードなるせ、小松南災害公営住宅を視察しました。安倍総理大臣が宮城県を視察するのは、今回で6回目です。

安倍総理大臣は、「住宅やインフラ面において復興は進んでいるが、今後は被災された方々の体や心の健康のケアに力を入れる必要を感じた。」と述べ、根本復興大臣へ総合的な施策の策定を指示したことを明らかにしました。



有限会社アグリードなるせ（東松島市）を視察し、キャベツをコンテナに詰める安倍総理大臣

## 集中復興期間延長を国に要望

平成26年7月10日

宮城県では、青森・岩手・福島の被災県と合同で、国が平成27年度までとしている「集中復興期間」を延長し、十分な復興財源を確保するよう、国に対して要望活動を行いました。

国は平成23年度から平成27年度までの集中復興期間の5年間で25兆円の復興予算を確保していますが、それ以降の財源は明確にいません。

この日、村井知事らが復興庁を訪問し、「人手や資材不足で集中復興期間内に終了しない事業もあり、期間を延長し、必要な財源を確保して欲しい。」と根本復興大臣へ要望書を手渡しました。



要望書を根本復興大臣へ手渡す村井知事

## 復興支援情報 information

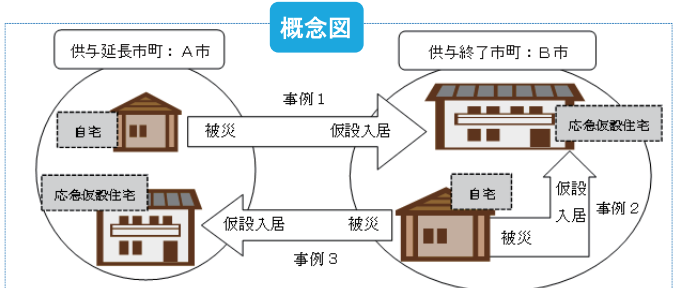
## 応急仮設住宅の供与期間を延長します

宮城県では、14市町（仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、多賀城市、岩沼市、東松島市、大崎市、亘理町、山元町、七ヶ浜町、女川町、南三陸町）で被災された方の応急仮設住宅の入居期間について、さらに1年間延長し、5年間とすることを決定いたしました。

県内のプレハブ仮設住宅については、自動更新となりますが、民間賃貸借上げ住宅については、今後、現在の契約期間の終りに合わせて、随時、入居者の方、貸主の方および不動産関係事業者の皆さまへご案内します。

なお、上記以外の市町で被災された入居者の方、その貸主の方および不動産関係事業者の皆さまには、8月下旬以降、入居期間終了について、ご案内しますので、ご確認ください。

県外の応急仮設住宅等に避難されている皆さまについては、宮城県から各自治体等へ延長について依頼をしております。手続きについては、別途、現在お住まいの自治体等からお知らせがあります。



【事例1 A市の自宅が被災し、B市の応急仮設住宅に入居】  
B市の応急仮設住宅の供与は終了したが、被災時に居住していたA市の供与期間が延長されるため、供与期間は5年間に延長。

【事例2 B市の自宅が被災し、B市の応急仮設住宅に入居】  
被災時に居住していたB市の応急仮設住宅の供与が終了するため、供与期間は4年間で終了。

【事例3 B市の自宅が被災し、A市の応急仮設住宅に入居】  
A市の応急仮設住宅の供与期間は延長されるが、被災時に居住していたB市の応急仮設住宅の供与が終了するため、供与期間は4年間で終了。

【お問い合わせ先】 県震災援護室 電話 022-211-3257 URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/engo/>

※今後の生活再建等に関するご相談は、被災当時お住まいの市町村窓口へご相談ください。



## みやぎ復興プレス 第27号

【発行日】平成26年8月1日 【発行】宮城県震災復興本部（事務局：震災復興推進課）

電話：022-211-2408 e-mail：fukusuif2@pref.miyagi.jp

宮城県ホームページ「震災復興推進課」 URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/>

「震災・復興」 URL <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/>